

2026年度 NPO 法人のびの会講演会

摂食症・パーソナリティ症と 共に生きる 2026

～生きにくく、支えにくく、関わりにくい

パーソナリティ症・摂食症と併存症～

2026年7月5日(日)

13:00～16:00(12:30 開場)

会場: 横浜市健康福祉総合センター 4F ホール

参加費: 会員 1000円・一般 1500円

13:00 開会 本日のご案内

13:10 基調講演

「パーソナリティ症・摂食症と併存症の生きにくさ・支えづらさ・関わりづらさ」

(中根 潤氏 下総精神医療センター 院長)

「家族の回復 ～BPD 家族会の25年の軌跡～」

(安藤 馨氏 久里浜医療センター 認定看護師)

14:10 休憩

14:25 体験談発表 (ご本人2名とご家族1名)

ディスカッション

15:30 質疑応答

16:00 閉会



NPO 法人のびの会事務局 TEL045-787-0889

<http://nobinokai.or.jp> mail kouenkai@nobinokai.or.jp



本講演の見どころはここ!!

1. 摂食症とパーソナリティ症の講演会を、初めて同一テーマで開催!!

拒食や過食嘔吐、リストカットや自傷行為は、いずれも『『極端な白黒思考』によって、『心も身体も傷つける行動』です。しかし、どれだけ生命が危うくても、これらはけっして病院やお医者さんが救って治してくれる病気ではありません。

さらに、この病気には、アルコールや薬物（特に処方薬や市販薬）、ネットや買い物、万引きなどの依存症状や、鬱病、双極性障害のような気分の波がある病気、そして神経発達症（発達障害）などを伴う方も多くおられます。今回は、そうした「併存症」にも触れたいと思います。

2. ご本人やご家族と「ともに生きた」専門家だからこそその真実の話だけをお伝え!!

「病院やお医者さんだけでは治せない、でも、どうにか、何とかならそうだ」。ご本人や家族を発足当時から支え続けた専門家しか語れない、まさに嘘偽りのない事実をしっかりお伝えしたいと思います。

生きづらいご本人、関わりづらいご家族、そして支えにくい関係機関の方々、皆さんと、貴重なこの機会をご一緒できることを切に願っています。



※「併存症」とは、複数の精神疾患が同時に存在することを指します。

講師紹介

中根 潤氏

大学病院での研修後、久里浜医療センターを経て、2003年から千葉県の下総精神医療センターに勤務。2002年の境界性パーソナリティ症家族会発足時から、当法人嘱託医として関わって現在に至る。

安藤 馨氏

1993年に久里浜医療センター入職後、神奈川県立精神医療センター、徳洲会横浜日野病院等を経て、2024年に再び久里浜医療センターに。日本精神科看護協会精神科認定看護師。

2002年の境界性パーソナリティ症家族会発足時から看護師として、家族指導、家族会に携わって現在に至る。

～お願い～

- ・体温が37.5以上の場合は来場をお控えください。
- ・マスクの着用にご協力ください。
- ・会場内では他の方との距離を取ってご着席ください。
- ・会場へのお問合せはご遠慮ください。

会場アクセス

○JR京浜東北線、根岸線「桜木町駅」下車。

南改札を出て右手にある「野毛ちかみち」を下り、「西出口」（エレベーターあり）からお上がりください。

○横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町駅」は、そのまま「野毛ちかみち」につながっています。

